

前協議会保留事項（防災、代表者会議、生活介護連絡協議会）

障害者福祉施設等における防災・代表者会議について

資料 1

1. 経緯

- ・令和元年度第3回幹事会（12月）において、防災について話し合う機会が必要であると合意。※1
- ・令和元年度第2回地域自立支援協議会（2月）において、意見交換を行う。 ※2
継続的に検討する場を持つことについて承認をいただく。会議の詳細は幹事会で決定することとなる。
- ・協議会の直前、いぶき療護苑隠田氏から雑賀会長宛てに「松戸市障害福祉代表者会議」の開催を希望する要望書を受理。
検討項目は災害対策、医ケア児者支援、介護保険事業との連携、社会福祉法人改革、短期入所利用など。

2. 幹事会としての案

（防 災）○方針 自立支援協議会の組織内で定期的に検討の場を持つ

○目的 障害者福祉施設間で連携できる体制づくり（災害時の共助）、
障害者福祉施設と地域の関わりの強化

○具体的活動 各施設の資源（物や人）の共有とリスト化

（代表者会議）○方針 自立支援協議会の組織外で市内社会福祉法人を中心に定期開催
→長期的には代表者会議を代表して協議会の委員となる可能性も

○目的 障害種別、事業種別を越えた横の繋がりの強化、法人の代表者レベルで検討が必要な課題の検討

○具体的活動 災害対策、その他代表者会議にて活動目標設定

※コロナウイルス感染症拡大により時期については再検討

※1 幹事会で出た課題…災害時教育／事業所啓発／居場所の確保／地域のネットワーク（自治会）との連携／資源の共有

※2 協議会で出た課題…避難所の障害者用トイレ整備／医ケア児、施設の電源確保／視覚障害者の避難／（肢体不自由児者と）日頃からの地域との繋がりづくり／2次福祉避難所への振り分けの仕組み／小さい子を持つ保護者が守られる環境／お互いができることを地域ぐるみで話し合う

生活介護連絡協議会（仮称）について

1. 経緯

令和元年度第2回協議会の直前、いぶき療護苑隠田氏から雑賀会長宛てに「松戸市生活介護部会（連絡協議会）（仮称）発足のお願い」を受理。生活介護は利用者も多く、内容も多彩な事業でありながら課題が山積しているため、各事業所が個々の対応に苦慮している状況。生活介護事業所の情報交流、困難ケースの共有・検討、高齢化・重度化に対するスキルアップ、政策提言について検討するため協議会設置を希望するもの。

2. 幹事会としての案

- 方針 障害福祉課が市内全生活介護事業所を招集し、連絡会組織化の希望について確認。
希望がある場合、組織化に向けて事務局を担う事業所を決定。
その後は事務局を中心に連絡会を開催。

